

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>検討委員会の方々のご苦労なさったと思う。厳しい学校事情の中、再編は致し方ないと感じるが、私の孫が関係してくるようなので関心がある。希望としては、昭代校区のように矢留小と両開小と柳南中での小中一貫校を作って頂きたいが、そうはならないのか？</p>	<p>まず、蒲池校区と昭代校区において、義務教育学校を導入する計画を立てた理由から順を追って説明する。蒲池校区に隣接する校区は、旧三橋町地区の矢ヶ部・ニツ河校区と、わずかな境界で接する昭代校区であり、他の校区との組み合わせが難しい。昭代校区は、柳城・柳南校区との間に沖端川があり、統合すると通学面での負担が大きい。蒲池校区と昭代校区を統合し、中間地点に新設校を作ろうにも、地理的に用地確保や通学面での負担が大きい。そのため、小学校同士、中学校同士を統合して横に広げるのではなく、小学校と中学校を統合し、縦に広げて9年制にすることで、全体の学級数を確保する考え方が義務教育学校である。加えて、蒲池・昭代校区においては小中学校の校舎が隣接しており、義務教育学校を作るのに適した条件があった。ただし、部活動においては、小学校高学年が練習に参加し、活性化を図ることはできるが、小学生は中体連の大会には出場できないため、団体戦の人数が揃わない可能性は残る。そのため、矢留小と両開小および柳城中と柳南中については、まずは小学校同士、中学校同士での組み合わせができるため、そちらを優先する案を策定している。</p>
	<p>中学校について、大和中と三橋中との統合中学校は規模が大きすぎるのではないかと？統合せずそれぞれのままで良いと思う。柳城中と柳南中も同様である。学校規模は維持できるはず。また、規模の大きな学校を作ろうとする一方で、蒲池校区と昭代校区は規模が小さい。学級規模は25人から35人程度が良い。40人では多い。今は最大何人か？</p>	<p>小学校は、令和3年度から段階的に40人から35人学級に引き下げているところで、現在は3年生までが35人編成である。来年度は4年生までが35人学級になる。なお、中学校は40人学級である。</p>
2	<p>20年、30年前から40人である。国をはじめ教育に全くお金を使っていない。未だに40人学級のままなのは、子どものためを思っていないことの証拠ではないか。1クラスの人気は少ない方が良い。子どもの人数よりも大事なものは、良い教師を多く配置すること。教師さえ良ければいじめ問題、不登校など起きない。資料の「小規模校の問題点」の最後に、財政面への負担が大きいために再編するようなことを書いているが、こんなことを言い出したら国の考え方と同じである。もう少し教育にお金を投資するよう働きかけるべきである。大和中と三橋中の統合はどちらも規模が大きいのではないかと？</p>	<p>まず、学校規模についてだが、ご承知のとおり、三橋中は確かにある程度の規模を維持しているが、大和中は、現状で1学年3クラスのところ、そう遠くない内に2クラスが維持できるか分からない状況となる。今後の人口推移を考慮すると、ある程度の規模を確保する必要があるという考えで今回の計画案を策定している。ただし、説明会を行う中で出た組み合わせに関する意見については全て持ち帰り検討する。次に、教職員の配置についてだが、教職員は学校規模に応じて定数が定められており、県から配当される。小学校は段階的に1学級35人までに1人、中学校は1学級40人までに1人という基準があり、中学校は更に教科という要素が加わるため少し複雑になる。このような状況の中、一定規模の教職員集団を確保し、教育内容を充実させるためには、適正規模の学校を作る必要がある。ご提案については持ち帰り再度検討する。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
3	<p>(仮称)柳南小について、令和10年度時点で210人の8クラスとの推計である。令和12年度の開校時には更に減るのではないかと心配である。望ましい学級規模としては、2クラス以上が良いということだが、統合しても1クラスという状況になった場合、更なる再編の可能性はあるのか？</p>	<p>現時点では今回の案による再編を計画している。将来的に人口推移の結果、更に大規模に統合する必要が出てきた場合は、その後に改めて検討したい。</p>
	<p>矢留小、両開小では、それぞれ白秋祭のパレードや龍神宮の相撲大会など地域行事の学習が行われている。具体的には、再編協議会でも検討し、また、授業時数の確保などは学校で検討する話だと思うが、それらが今後どうなるのか分かる範囲でお伺いしたい。</p>	<p>学校での地域行事の学習については、大切な課題だと認識している。柳川市では、ふるさとを愛する子どもを育てるという目標をたてており、これまで、それぞれの学校が地域の伝統を大事に学習してきたところである。今後については、地域の皆様の思いを聞きながら、統合前の段階から、学校を中心として協議をしていきたい。年間の授業時数は約1,000時間と決まっているため、どの行事を残す、規模を縮小する等、また、場合によっては、学校全体では行わず関係の強い地域の子どもを中心にを行う行事にするということも含めて検討が必要だと考えている。</p>
4	<p>前回の学校適正規模・適正配置化検討委員会のメンバーに議員はいたのか？</p>	<p>市議会からは、委員として3名選出いただいた。</p>